

広報 おだわら

ODAWARA PUBLIC INFORMATION

平成5年 5月15日
May 15, 1993 No.603

発行：小田原市役所
〒250 小田原市保原300番地
毎月1・15日発行
編集：広報広聴課 (☎ 33-1261)



城内スボレク広場でのグランドオープニング

戦国絵巻 北條五代祭り

五月三日、小田原城天守閣周辺で、北條五代祭りが壮麗に開催されました。今回は初めて、早雲公銅像前で出陣の宴を行い、グランドオープニングでは、鎧・兜に身を固めた北條五代や、あやや

かな姫君たちがステージに勢ぞろい。初代早雲公にふんじた小澤市長の開会宣言に続いて、武者隊が勝ちどきをあげて出陣し、総勢千九百人のパレードに沿道の見物人は歓声をあげていました。

四月二十九日の緑の日、小田原駅東口と城址公園野外ステージで、かながわ都市緑化小田原フェアグリーンライフおだわら'93の街頭キャンペーンを実施されました。おそろいのジャンパーを着た市民キャンペーンスタッフや、小澤市長、ミナ小田原がミニ観葉植物とマスコットバッジを買い物客や観光客に手渡し、イベントへの来場を呼び掛けました。

「花と緑を未来につなごう」が合い言葉のグリーンライフおだわら'93は、十月三日から十一日までの間、上府中公園で開催されます。

グリーンライフおだわら'93 街頭キャンペーン



ミニ観葉植物をどうぞ

目次

- 新自治会長決まる
- マイタウンレポート
- 曾我の命燃きまつり・小田原の年中行事
- きらめき情報・けんこうコーナー
- おだわらの鳥

曾我の傘焼まつり

曾我兄弟大願成就800年祭

曾我の傘焼まつりは、「曾我兄弟のあだ討ち」で有名な曾我十郎と五郎の霊を慰めるお祭りです。二百年も前から続けられているこのお祭りは、地域のみならず、方によって年々盛大になり、今では梅まつりと並んで「曾我の里」づくりの大柱とされています。今年はお祭りからちょうど八百年、たぐさんの催しが予定されています。みなさんも「曾我の里」へかけてすつくりのお祭りに参加してみてください。

曾我兄弟のあだ討ち

安元年(二七六)年、伊豆の国で、兄弟の父河津祐泰(祐通)というは、所領の争いがもとで工藤祐経の家来・弓矢で討ちかちました。



城前寺に集り込まれるあだ討ち入りの舞

傘焼まつりと歌舞伎

曾我兄弟のあだ討ちが、さまざまな形で現在まで伝えられて

殺されてしまいました。

その後、幼かった兄弟は、母満江御前の再婚で曾我の里へ移り住みますが、父の無念を忘れることができません。成長するにつれて、父の仇の工藤祐経を討とうとする気持ちは強くなるばかりでした。

建久四年(一一九三)五月、源頼朝は富士の裾野で盛大な幸狩りを催しましたが、この時、十郎と五郎は、各家族のひそかな援助や手引で番旗の旗ひそや工藤祐経の陣屋に忍び込みました。兄弟は、目指す祐経を探しますが、たいまが燃え尽きたも見つかりません。かぶつていた笠をたいまで代りについて見つけ出し、やつと祐経を持ち取ることができました。兄十郎は、このときに討ち死に。弟の五郎は翌日打ち首になりました。十郎が二十二歳、五郎が二十歳の若さでした。

日本三大あだ討ち

曾我兄弟のあだ討ち、寛永十一年(一六三四)年、荒木重門の伊賀上野・隠岐の辻のあだ討ち、元禄十五年(一七〇七)年、赤穂義士のあだ討ちが日本三大あだ討ちといわれています。

いるのは、江戸時代に曾我物語として歌舞、浄瑠璃、義太夫浄瑠璃、歌舞伎などに数多く取り上げられたことによります。とくに歌舞伎は民衆のうらみを待って、初春狂は必ず曾我



平成4年5月28日撮影 大開昇進直後の瞬間

傘焼まつりと角力

曾我兄弟の妻父の河津三郎祐泰は、河津の地頭で武芸に優れる武士でして、当時相模の大木に、伊賀五郎と、無敵の大力士がいまいた。あるとき朝の面前で角力大会が催されたとき、連戦連勝の伊賀五郎を河津の三郎が「両津掛け」の奇手で破り大勝を挙げました。

傘焼まつりの行事予定

○五月十五日(土)
境内には曾我兄弟の墓所をはじめ、遺跡碑や曾我物語に縁のある地頭やこの地を訪れた歌人の石碑やごまがあります。ご覧になつて下さい。兄弟の親を慰もうと勇氣に共感されることと思います。

○五月二十三日(日)
・弓道大会 城前寺 午前十時三十分
・謡曲 小袖曾我 曾我別所公民館
・俳句大会 梅の里センター
○五月二十七日(木)
・松明行列 六本松・祐経通り 城前寺 午後八時
・曾我音頭 バレード 下曾我駅前大通り 午後五時八時



曾我兄弟遺跡保存委員会 会長久保和男さん



城前寺第3代住僧 曾川明演さん

水道は ところでも安心 うまい水

6月1日火〜7日月 水道週間

小田原市水道局 ☎12002

ときめき国際学校 市民ボランティア募集

ホストファミリー
オーストラリア中・高生のホストファミリーを募集します。期間は7月16日から27日のうち、6日程度です。

市民スタッフ
「ときめき国際学校」の支援スタッフを募集します。国際交流に関心がある方が応募をお待ちしております。

申込み、問い合わせ
文化課 ☎1202
「ときめき国際学校」事務局
「ときめき国際学校」事務局
「ときめき国際学校」事務局

ふるさとの息吹

小田原の年中行事 ②

小田原市史編さん委員
西海 賢二

五月の行事 端午の節供

五月は五節供(節)の一つ端午の節がある。中国から伝わった気負返をほらう行事である。邪をはらうという真直や運を身につけ六方屋根に掛けたります。

古くから端午の行事は、威張つた風があり、中世の武家の世になると、その傾向はますます強まってきた。市内でも出陣部や曾我、上府半、寒灰共、川地区とで、五月の節供は、



ケンヤキダコ 郷土文化館所蔵

大風をあけるという伝承もありあますが、田市内りわけ海岸、沼津(甲八町附近)には節供に大風をかけたという伝承が多く、昭和十年代に大風をあけるとして伝えてきた。田中、酒匂、小八幡、本町地区との漁業関係者やひ浦餅製業者などは、長男節にはすごい大風を五月の節供にかけた記憶があり、小田原の大風など呼ばれていた。早川地区などでは大風にも乗ったまま舞いがつて因ったことがあったらうの逸話が残っている。



田中、現 南町三十三区

では、五月の節供には大風をあけたか、風の種類と

田中、現 南町三十三区では、五月の節供には大風をあけたか、風の種類と



田中、現 南町三十三区

田中、現 南町三十三区では、五月の節供には大風をあけたか、風の種類と



田中、現 南町三十三区

田中、現 南町三十三区では、五月の節供には大風をあけたか、風の種類と



田中、現 南町三十三区

田中、現 南町三十三区では、五月の節供には大風をあけたか、風の種類と



田中、現 南町三十三区

田中、現 南町三十三区では、五月の節供には大風をあけたか、風の種類と

北方の領土かえる日 平和の日

田中、現 南町三十三区では、五月の節供には大風をあけたか、風の種類と

田中、現 南町三十三区では、五月の節供には大風をあけたか、風の種類と

う こ ろ な け ん

●問い合わせは保健センターへ
047-080800



●成人病予防

年17歳、健康診断を受診せよ
●健康診断 対象者は20歳以上の市民。健康診断は、対象者の健康状態を把握し、生活習慣病の予防に役立つ。健康診断は、対象者の健康状態を把握し、生活習慣病の予防に役立つ。健康診断は、対象者の健康状態を把握し、生活習慣病の予防に役立つ。

●予防接種

●おたふく病(流行性耳下腺炎) 対象者は40歳以上の市民。おたふく病は、流行性耳下腺炎。おたふく病は、流行性耳下腺炎。おたふく病は、流行性耳下腺炎。

●母子健康手帳

●母子健康手帳 母子健康手帳は、母子の健康状態を把握し、生活習慣病の予防に役立つ。母子健康手帳は、母子の健康状態を把握し、生活習慣病の予防に役立つ。

あなたの外食再点検!

●外食の再点検 外食の再点検は、外食の健康状態を把握し、生活習慣病の予防に役立つ。外食の再点検は、外食の健康状態を把握し、生活習慣病の予防に役立つ。

●献血

●献血 献血は、健康状態を把握し、生活習慣病の予防に役立つ。献血は、健康状態を把握し、生活習慣病の予防に役立つ。

●おたふく病

●おたふく病 おたふく病は、流行性耳下腺炎。おたふく病は、流行性耳下腺炎。おたふく病は、流行性耳下腺炎。

●保健所だより

●保健所だより 保健所だよりは、保健所の活動状況を報告し、生活習慣病の予防に役立つ。保健所だよりは、保健所の活動状況を報告し、生活習慣病の予防に役立つ。



●おたふく病(流行性耳下腺炎) 対象者は40歳以上の市民。おたふく病は、流行性耳下腺炎。おたふく病は、流行性耳下腺炎。おたふく病は、流行性耳下腺炎。

●乳幼児健診 6月

持ちもの：母子健康手帳、別冊、1歳6か月児は歯ブラシ

健診名	会場	生まれた日
生後1ヶ月	児童館	
3ヶ月児 (5年2月生まれ)	小田原保健所	1-9 10-15 16-23 24-末
	保健センター	3日 10日 17日 24日
7ヶ月児 (4年10月生まれ)	保健センター	1-9 10-15 16-23 24-末
	保健センター	1日 2日 8日 15日
1歳6か月児 (3年11月生まれ)	保健センター	1-9 10-15 16-23 24-末
	保健センター	1-10 11日 18日 24日
3歳児 (2年5月生まれ)	小田原保健所	1-10 11-20 21-末
	保健センター	1日 8日 15日

●休日診療カレンダー

日付	診療科目	診療時間
18日	内科・小児科・眼科	午前9時-11時30分 午後1時-3時30分
20日	内科・小児科・耳鼻咽喉科	歯科
23日	内科・小児科・耳鼻咽喉科	歯科
6日	内科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科	歯科
9日	内科・小児科	歯科
13日	内科・小児科・耳鼻咽喉科	歯科
19日	内科・小児科・眼科	歯科
27日	内科・小児科・耳鼻咽喉科	歯科

※夜間診療(内科・小児科)は毎日
受付 午後7時-10時
休日夜間急患診療所 ☎47-0823
休日急患歯科診療所 ☎47-0825
休日夜間緊急薬剤薬局 ☎47-0826

市民プラザ

わがまちをいっしょに暮らす仲間を
つくるために、市民プラザが
小田原市青少年会館30周年
記念事業として、市民プラザ
を開設しました。市民プラザは、
市民の生活に役立つ様々な
サービスを提供しています。

- 市民プラザのサービス
- 市民プラザの施設
- 市民プラザの活動

小田原城下の発掘調査と 年中行事の報告書を刊行

教育委員会は、小田原市内の発掘調査と年中行事をまとめた報告書を刊行しました。市の歴史を知る手掛かりとしてお求めください。



刊行価格 価格は消
費税込
○小田原城下の丸
箱根口跡小田原
城の丸内への出
入り口の一、箱
根口跡史跡公園
整備に伴って種
別変更の報告書
(B5・五七・二六
一頁・三百頁)
○小田原城下櫓
町遺跡

田家「うらやま」の城敷内
の発掘調査報告書 B5・二
四九ページ・千七百頁
○長久保宗全忠跡第一地点
小田原城下大門の西側に
する小田原藩家老の居敷地
の発掘調査報告書 B5・五
二ページ・千四百頁

○小田原の年中行事を
小田原に伝わる礼をその年中
行事にたいして、月にこね
(B5・五七・千七百頁)
○この丸、市内の文化を顕
示する水と歴史と見ごころ
と既刊の図書ありなど
●車場跡、市役所跡行政
●三ツ石、小田原城公園
●商店、小田原城下櫓
●関合わせ 文化財保護課文
化財係 ☎5717

おだわらの鳥2 小さな谷の歌い手

日本鳥学会会員
室伏 友三



あけられないと思われぬ程あ
いて、胸を張って歌いだして
その歌詞は、複雑で翻訳す
ることさえ難しいが、たんん
ん……

春がめぐって、夏が始まる
うとする頃、木々の芽がふさ
緑が、原産を鳴す林の中で
突然、大きな鳴を耳にするこ
とがある。
その鳴は、大抵、小さな谷
のせせらぎと共に聞こえてく
る。そして、じつと耳をすま
して、やが自分の近く
で聞こえ始め、やがて鳴の主
が姿を現す。
小さな谷には似合わず、大
きく黄色い口をもちこれ以上

「春だ、春だ、早く嫁さんを見つけたら季節が変わってしまふ」とか、「こゝでは俺様が一番強いが、なわばりには近づくな」とか、
等と語っている。であらう。
そして、田々彼は、広大ななわばりの界の廻りをして、かく何羽かの雛を抱え、いくつかの巣をつくり、その間中自分の暮らしを支え、という

アケタイプな生活をしているのである。
ミソサザイは世界中、特に北半球に広く分布し、美しく大きな嘴を持つているのが特徴である。日本のものは、ユーラシア大陸産のものと同様である。
地方によっては、「ミソドリ、ミソツッコ」等と呼ばれない程、大きな美しい鳴を奏する。その鳴は、また周囲に冬枯と雪の残る春から始まる。何故かといは、彼等が太陽の日照時間を敏感に感じとっているからである。
小田原では、箱根・真鶴・南足柄との界の林内で、小さな谷川のせせらぎのあるところ所に存在する。又、冬には平地へも遷行する。

1992年度版 小田原市統計要覧 ・人口白書を発行

小田原市統計室は、土地
気象、人口の推移、産業構造
交通、財政などの現状を
紹介し、人口白書は、平成二年

郷土文化館研究報告書を発行

人文科学を研究している友
郷土史を愛する者を始め、市
民のみなさまに興味を持って
いただけると思います。

① 田島秀太郎先生著、小田原城下の歴史と地理について
② 田島秀太郎先生著、小田原城下の歴史と地理について
③ 田島秀太郎先生著、小田原城下の歴史と地理について



成配偶関係、世帯構成、高
齢者世帯の状況と解説して
います。
●価格
○小田原市統計要覧 千七百頁
○小田原市の人口白書 六百五
十頁 (税込)
●車場跡、市役所跡行政
●三ツ石、小田原城公園
●商店、小田原城下櫓
●関合わせ 行政総務課計
係 ☎1255



酒匂ビーチクリンアップ
JC主催で開かれる
去る四月十一日(日)、酒匂
川河口、青年会議所地球環境
委員会主催の酒匂ビーチクリ
ンアップが開催されました。
当日は子どもから年寄りま
で約百十人の市民が参加し、
海岸に散らすゴミを、マッ
クシートを持って拾い集めて
川口、紙袋、発泡スチロール
容器のみなど、これらのゴミを
をなさい。私たちのライフス
タイルのから出たものばかり
です。一番多かったのは飲料
缶でした。次いでタバコのフ
ィルター、紙袋、発泡スチロ
ール容器のみなど、これらの
ゴミを、紙袋、発泡スチロー
ール容器のみなど、これらの
ゴミを、紙袋、発泡スチロー
ール容器のみなど、これらの

市民花壇づくり参加者募集

10月3日～11日

●対象 市内在住の4人程
度のグループ、家族の方
先着50組
●内容 市民花壇(草花を
植えます。草花は英多花を
会用します。土壌の広
さは1区画3mです。草花
は1区画40株以内
とします。)

●申込方法 住居はきに住
居する方、電話予約、フ
ォーム記入して、お申込
みください。
締切り 8月30日印刷は抽
選です。抽選方法は抽選
機です。
●問い合わせ かわがわ市
緑化推進課 〒256小田原
市秋吉30番地 公園緑
地課 ☎5958

市政モニター募集

まちづくりにあなただの声を

●募集先 18歳以上の小田
原市に住民登録している
市民の方です。
●応募方法 18歳以上の小
田原市に住民登録している
市民の方です。
●応募先 18歳以上の小田
原市に住民登録している
市民の方です。
●応募方法 18歳以上の小
田原市に住民登録している
市民の方です。